

私の家族は 義父、主人、私、 年の長男、 の長女の
5人家族です。

長男の は 小学2年の6月より8月に 渡り
学校へ行くことは ありませんでした。

何が 子供に 起ったのか が 私自身 解からなくなり
嫌がる 子供を 無理矢理 学校へ 連れて 行ったりと
毎日毎日 地獄の様な 日々を 過ごして いました。

今まで 義父、主人、子供に 対して 不足 不満の 日々を
過ごし 私自身 が 今までの 子育ての 反省を

いなくては いけない という 事に 気付く ことが
できました

子供優先の 生活の中で 過保護 過干渉と
子供の 自立の 芽を つんで いた 事も 解からず
良かった と思っていた 子育てが 間違っていました。

ほんとうに はかな 親でした

以前は 学校から 帰宅する 子供に 「宿題は?」
「だれと どこに行くの?」 「早く 帰えて おいでね」と
口うるさく 接していました。

「今日は 学校で 何が あったの?」 と 私の 口ばかり
動かし 子供が 話す 事を 止めて いました。

登校する 様になつてからは 今までの 子育ての 反省をし
親は 聞き手であり 子供自身で 考え 行動する 様に
私自身が 変わらなくては いけないと 考えて います

今まで 毎朝 「忘れ物ははい？」と聞いていたが

私が 先々 子供に 話なくても いつのまにか

忘れ物を取りに戻ってくる事は なくなりました。

一瞬 戻ってくる子供を見ると ドキッと する事もありましたが

たくさん 運動して きたえられるなあ と考えると

子供に イライラする事なく 接する事が 出来ました。

宿題など 何も 言わなくても 自分で 行動する事が

できます。時々 朝 宿題をしている事もあります。

時間が なくなり 「後は 学校でやる」と 言い

ランドセルを 背負い 登校する姿を見れる事は

うれしくて 仕方がありません。

子供が 考えて 行動出来ることを みて 親が

先々 話していた事に 気付く事が できたことは

私の 一生の 宝物です。

義父、主人に 対して 感謝の 気持ち を 忘れる事なく

親が 変わり 正しい 子育てに 努めたいと 考えております。